

フランス風の粋なカップ
優雅な風味を秘めたコーヒ
UC上島コーヒショップは
神戸の新しい
話題です



UC
上島コーヒショップ

さんちかメンズタウン
TEL/39-5677

UCC上島珈琲本社

神戸駅前
TEL/34-3606-9





DONQ

フランス菓子

コーナー

8月 ウフ アラ ネージュ
Oeufs à la Neige

★材料		ソースアングレーズ材料	
卵 白	3 個	卵 黄	4 個
粉砂糖	100 g	粉砂糖	150 g
レモンエッセンス	少々	レモン	少々
牛 乳	1/2 l	牛 乳	1/2 l
アマンド薄切	50 g	薄力粉	20 g
ソースアングレーズ		キリッシュ大サジ	4 杯

★作り方

- ① 卵白は氷の上でキメ細く泡立て砂糖とエッセンスを加えて軽く混ぜ合せておきます。
- ② 牛乳は別に鍋に取り煮立たせ次に弱火に加減してその中に泡立てた卵白を適当な大きさに、サジですくって丸く落し卵白の表面をわずかに煮立っている牛乳の中でボシエします。途中で1度裏返し指先でやや固い感触を感じればアミの上に取り出しよく水気を取り必ず冷所にて冷しておきます。

★ソースアングレーズの作り方

鍋に卵黄と粉及粉糖及香料を入れ混ぜ合せます。白ぼくなってきたら牛乳を加え、火にかけたぎってくるまで木の杓文字でゆるやかにそして絶えず掻き廻しつぎに火から下ろして細かに漉します。冷めてからキリッシュを入れてます。その中に好みの洋酒を少量混ぜよく冷します。

★仕上げ方

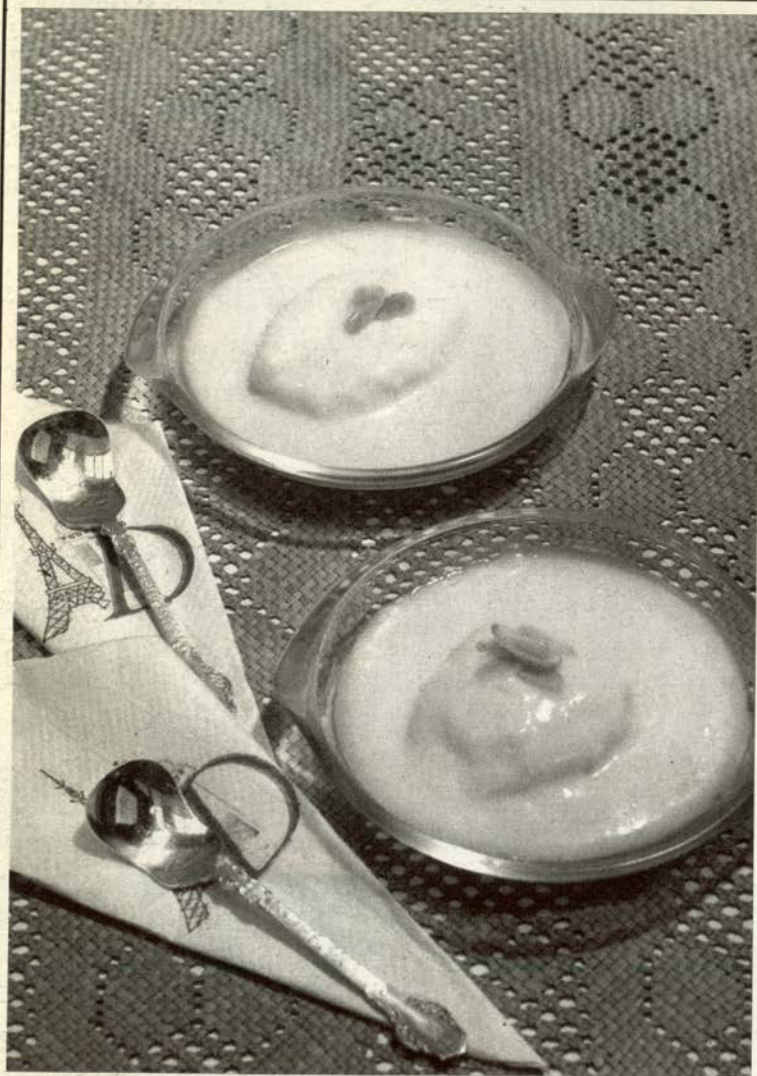
よく冷えたら、デザート皿の上にとり、冷たいソースアングレーズをたっぷりかけ、焼いたアマンドの薄切を少量ふりかけます。

(注) このアントルメは必ず冷たく作って出すように心がけましょう。

フランス菓子

本店 三宮センター街	TEL 09 5481-4
さんちかメイゾンドンク	TEL 09 4879
芦 屋 店	TEL (2) 5137
サンドウィッチバーラー	TEL 09 5485
フランスパンコーナー	TEL 09 4985
須 磨 - 寺 店	TEL 011 8752
垂 水 店	TEL 011 3603

* ドンクすずらん会では毎月フランスケーキの作り方をお教えています。気軽にご入会ください。



火を囲む若人たち
低くゆれる焰は
次第にその姿を
浮びあがらせ
草木をゆする
風の音は
焰を高く燃えあがらせ
若人たちの歌声が
木々にこだまする

紳士シャツ

大和屋のシャツ

三宮センター街 ㊦ 6956

BEAUTY SHOP

阪神美容室

川田つるゑ経営

大丸前 ㊦ 6264

元町阪神地階 ㊦ 5592

舶来服飾

マルエス

元町通3丁目 ㊦ 6541

おもちゃの店

カメヤ

元町通3丁目 ㊦ 0090

元町通1丁目 ㊦ 0768

三宮センター街 ㊦ 4969

さんちかタウン ㊦ 4045

六甲高山植物園にて





男子洋品の店

フナキヤ

元町通3丁目 ㊿ 3617



ACCESSORY SHOP

TAZU

太津

三宮本通 ㊿ 4780



絹屋

化粧品店

絹屋化粧品店

西店・三宮柳筋 ㊿ 5778

東京・甲南本通 ㊿ 0250



FASHION ACCESSORY

AKIRA

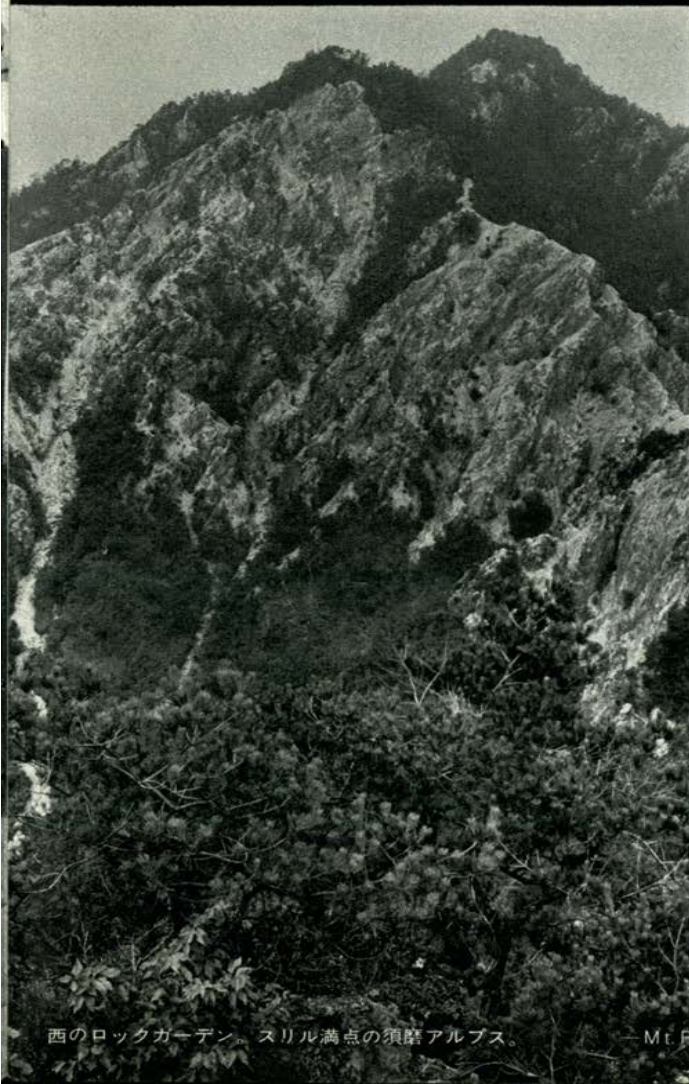
三宮センター街 ㊿ 4895

夏の六甲の夜空に
若人の夢と希望は
燃えあがる

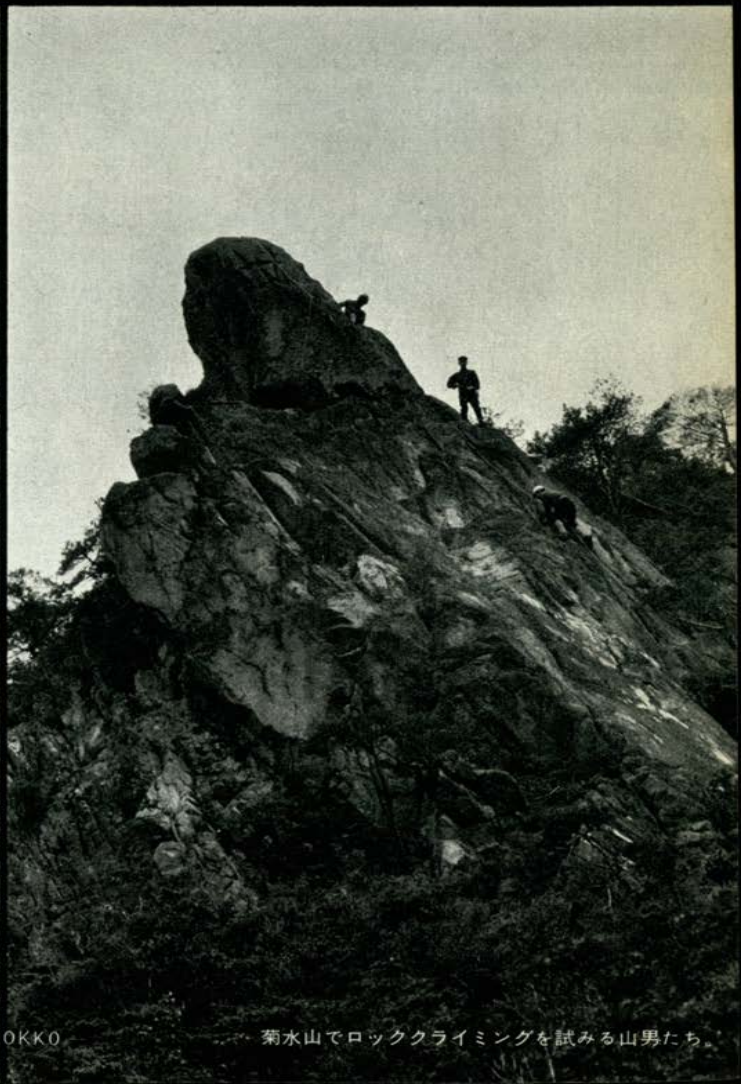


実地ルポ //

これが六甲縦走だ！

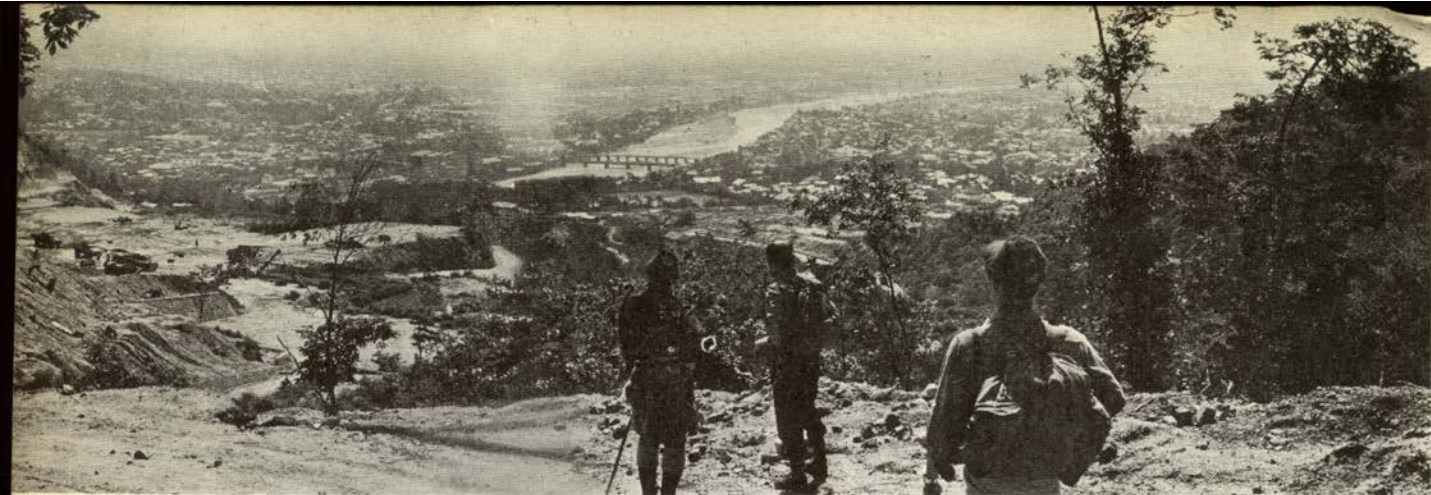


西のロックガーデン。スリル満点の須磨アルプス。



— Mt. ROKKO

菊水山でロッククライミングを試みる山男たち。



・開けゆく東六甲・遠くに宝塚市内を横切る武庫川が白く尾をひいているところ。

阪神間の尾根、六甲山は。東は

宝塚から西は針伏山まで全長五十四キロに渡って横たわり、四季を通じて神戸っ子の目を楽しませてくれる。ところでこの六甲山系全縦走が六甲登山の総仕上げになっており、一日でこれを成しとげたら、山男としても一人前だといわれている。神戸っ子編集部では、六甲縦走を企画。実際に歩いてみようということになった。

メンバーは兵庫県山岳連盟副会長山本吉之助氏、洋画家の松岡寛一氏、それに神戸っ子編集部の赤松慶三郎とぼくの四名で編成。

この明治の山男二人と、昭和の山男の六甲山珍道中。さていかがあいるのか？

時は六月十八(土) 十九日(日) 前日までの梅雨空もどこへやら、カラリと晴れたさわやかな夏の空だ。

★東六甲の大自然に行く

△宝塚宝来橋―紅葉谷―塩尾寺―岩倉山―譲葉山―大平山―船坂峠(十キロ)△。

出発前、二日間ほど降り続いた雨で宝塚市を横切る武庫川の水かさが増し、にこった水が音をたてて流れていた。それにしても、あれだけ降り続いた雨もどこへやら山本さんのいう「ぼくは晴れ男である」という言葉が立証されたような上天気。山本氏はすこぶる

ご気嫌だ。

我々一行四人は、その武庫川にかかる宝来橋を出発点とした。

紅葉谷を川づたいに登って、三叉路に出たが、この一番西に当る山膚がぼっかりとけずられ、ダンブカーが砂ぼこりをけたてて行きかい、ブルドーザーの音が周囲の山々にこだましてがなりたてている。

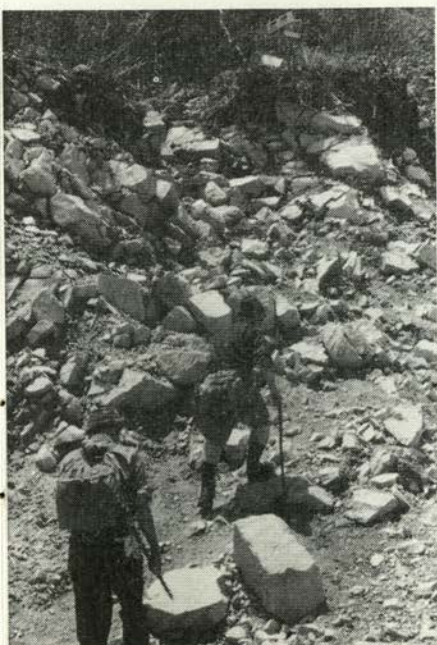
本来なら、もう山の中に入っているのはずが、この切り拓かれた所に石垣が築かれているところもあり、やがては、分譲住宅、公団住宅が建ち並ぶのだろう。

今、登って来た紅葉谷も買物カゴを下げた団地の奥さん連中がおしやべりをしながら往き来するのだなと考えていたら、我々一行がものものしいカツコウをして団地の中を歩いているヘンな錯覚にとらわれた。

そこから急な坂道を登り、廃寺となった塩尾寺の静かな杉木立の境内で休憩。途中、山道を少し横に入ったところで、何に願をかけていたのか、一人の年老いたおばあさんが木の股にいっしょうけんめい石をほうりあげていた姿が強く印象に残った。

「縦走コース・最高峰まで5.5km」の指示標が立つ境内のスキの赤い小さな鳥居をくぐって、砂山権現を経て岩倉山(四八八・九m)に

全六甲山脉縦走コース (54km)



・けずられた岩膚を登って再び縦走路へ＜縦走路分岐点＞。

でる。



六甲山は、山自体が花崗岩から成りたっていることは、よく知られているが、前日まで雨が降っていたのにさすが道の悪さを気にする心配はなかった。

二カ所ほど小さなぬかるみがあった程度。

ふとセミの声を耳にして、町なかより一足早く夏が来た感じを受けた。途端に「ホーホケキョ」とウ

グイスの声。ちよつと音程が狂っているようなのでホトトギスの物、真似かなともいう声もあったが、若い鶯が発声練習をしているのだろうということに落ち着いた。

「ハゲ山」が特徴のこの山上が開発され、雑音が多くなつて鳥たちのネグラがうばわれて、年々、その数が減つてゐる。東六甲は西六甲ほど開発もすすんでいないので、樹々も青々と茂り、周囲の山々からは小鳥のさえずりがチチと耳を楽しませてくれる。

六甲を愛し、山歩きを楽しむわたちのためにも、この東六甲の自然の美しさだけは大事にしたいものだ。

「ハゲ山」が特徴のこの山上が
開発され、雑音が多くなって鳥た
ちのネグラがうばわれて、年々、そ
の数が減っている。東六甲は西六
甲ほど開発もすすんでいないの
で、樹々も青々と茂り、周囲の山
々からは小鳥のさえずりがチチと
耳を楽しませてくれる。

六甲を愛し、山歩きを楽しむ人たちのためにも、この東六甲の自然の美しさだけは大事にしたいものだ。

可憐な小アジサイの花を見つけて、しばらく美しい色に見入ってしまふ。松岡画伯の口から「歩け歩け」の口笛が流れはじめ、一段と足どりも軽やかに歩み続けた。「口笛が出るうちは、まだまだ元氣な証拠だよ」と松岡画伯。

山本氏は、ノツシノツシと一歩



ずつ足を踏みしめながら先頭を歩む。

赤松君は、カメラを持って汗び
つしよりで一行の先になつたり後
になつて懸命にパチリパチリ。

岩倉山から譲葉山を通り、逆瀬川の源流を左下にみながら岩原山の中腹を横切り、棚越を経て、工事中の盤滝から有馬へ抜けるドライブウェイに出た。△ここは縦走分岐点▽

その少し突き出た所から「大剣小剣」といわれた宝塚から有馬へ抜ける蓬萊峽が一眺でき、左手はるかに、六甲山最高峰が望まれる。

けずられた山膚を登って、再び縦走路へとわけ入った。ブツシュの中に捨てられたビールビンを見つけ、「ここまでかついである物好きがいるんやな」「飲みたいナー」とぼやきながら汗をふきふき歩みつづけた。

★ONARA談議に花が咲く

ところで、六甲縦走中、六甲の話題がいろいろと出たが、それにも増して、大いに雑談にも花が咲く。話がいささか落ちるが山で生る現象の時に使う、男性の「キジ打ち」、女性の「お花つみ」という言葉で、男性が「お花つみ」という言葉を使わないのは、花まで手が届かないからで、この語源は「その時のカッウから来ているのだ」とマジメに結論を下す。

男性でも大便の方は「お花つみである」なんてことはいっこなし。それにしても六甲山は「禁猟区」ということをお忘れなく。これぞ「身につまされる話」……。

もう一つ臭い話で申しわけないが、松・あせびの茂る船坂峠のかりで昼食をとった時のこと。それまで威勢の良い？ ONARRAを放っていた山本氏が、ひさびさにPU！とやった。

それまで、すました顔をしていた連中も今度ばかりは、お互いに顔を見合せ、ニヤッと笑った途端にふき出してしまい、そのまま ONARA 談議。「ONARA にもまったく威勢の良いのと、トウエンテイクロスのような曲りくねったのと二通りあるんですよ。山道を歩いていてトウエンテイクロスを前でやられると、被害は後続部隊全員に及ぶので一番仕末が悪い」と山本氏。

ONARAを放せといわれて、
すぐに大きいのをPU! とやれ
る人をONARAの名人という。

★山は根性をつくる所じゃ

△船坂峠―水無山―石の宝殿―
一軒茶屋―極楽茶屋―六甲高山植
物園(八・四キロ)▽

六甲山特有の都笹（通称クマザサ）の茂る道にかかり船坂峠を経て水無山（八〇一m）頂上へ。
途中にケルンが積まれている。

＝ ビューティサールン ＝



資生堂専門店

KALH

さんちカレディスタウン

TEL 神戸 (39) 2827

伸びゆく **菊水總本店**
瓦せんべい

お中元・ご贈答に

創業明治元年



株式会社

菊水總本店

TEL ③4 1310・1382・9874



・東六甲は山あり谷ありのハイカーに楽しい山道だ。水無山のふもと。

この山への登りが精神的にも一番疲れたというのが、全員のほぼ一致した意見であった。左手下に芦有道路が緑の山々をぬって、白く尾をひいている。

芦有道路のインター・チェンジを左手にみながらいよいよ六甲最高峰に向った。途中にもう一つ尾根があり、そこに雨ごいの神、加賀の白山を祭った「石の宝殿」がある。その社のすぐ下、ドライブウェイに面した鳥居茶屋で、この石の宝殿の住人、白山の山伏という山下修さんに出会った。

山下さんは、白山生れの白山育ちで全国の山を歩きまわり、去年、この石の宝殿に住みついた。しかし、西宮には、もう二十年來住んでおり、六甲を知り、六甲を愛することにかけては誰にも負けないという。



・登る人が優先されるのが山のエチケット。

「コンニチワ、」

「山伏の本来の目的は、山を守ることなんじゃ。」

この頃、登山家だの何のといっているが昔でいえば、皆山伏じゃけんのう。ただ、山を理解していない者が多い。山は、根性をつくり、己の心を練る所じゃケン。それをたるんだ気持で山に登るけん、ケガをするんじゃ。この頃、石ブームとかで、山で石を採って帰る者が多いが、ワシラは山に登る時、必ず一つは石を持ってあがる。どんな小さな石でも良い。気持の問題やケンのう。それが山を愛するものの礼儀じゃ。」

六甲山は、宗教的な匂いのない山としてめずらしく、六甲山を愛する人達もそれを誇りとしている山下さんの言葉を借りればこの石の宝殿は宗教ではなく心行だということになった。この夏から、お



・清水でかわいたノドをうるおす。菊水山麓にて。

その夜、神戸っ子の会有志、十数名と六甲高山植物園で合流。スィス・アルプスの女王「エーデル

× × ×

我々一行四人を尻目に、この山上ドライブウェイを、車がカッコよくスィスイと走っていくが、我々は一生懸命うらめしげな顔もせず、これ又、一生懸命、何のこれしきでつかれるものかという顔をして意気揚々と今夜の宿になっている高山植物園にいた。

六甲山上縦走のドライブウェイから有馬温泉へ下がる紅葉谷との別れ道にあたり、山歩きの人達の目標になっていたのもので、特に有名である。



山上には古い歴史を持った茶屋が数カ所あるが、この極楽茶屋は高山植物の女王「エーデル」の女王。六甲高山植物園だ。

・六甲高山植物園の林間宿舎でキャンプファイヤーを楽しむ神戸っ子。

こもり（宿泊所）が完成し、登山者を泊める用意もできている。

鳥居茶屋から少し行った所でやっと西宮市から神戸市に入る。最高峰の中継所のアンテナを横に見て、一軒茶屋、ベルビュー有馬ロードを経て極楽茶屋へ到着。

ワイズ、日本高山植物の女王「エーデル」をはじめ世界の樹々、花々が集められているこの植物園でキャンプファイヤーを楽しんだ。紅々と燃えあがる炎が六甲の夜空をこがし、一日のつかれを充分いやしてくれた。

★色とりどりのハイカーで

にぎわう西六甲

△高山植物園―記念碑台―三国池―ゴールデンポイント―アゴニ―坂―摩耶山―天狗道―市ヶ原―修法ヶ原―パノラマ道―鍋蓋山―有馬街道（十六・五キロ）▽
明くる朝、我々は協議の結果、山上ドライブウェイを敬遠して車とばすことにする。

サンセット・ドライブウェイ、六甲山の開祖グルーム氏の功績をたたえた記念碑台、表六甲ドライブウェイの終点、丁字ヶ辻を経て三国池のところまで車を降りた。

二日目から、メンバーに、神戸っ子マンガ「ベッコ」でおなじみの永井文明君と関学四回生の井原君が加わった。

六甲山で松喰虫の被害が広がり問題になっているが、ゴールデンポイントに入ったあたりの松林は青々とした葉がむしばまれ、木の膚がカサカサにはがされて、みるも無惨な姿に変わりはてている。ユースセンター横に出たあと、アゴニ―坂を経て摩耶別山に入る。



*おしゃれな町KOBЕにふさわしい美容室<ビューティ サロンフジ>がトアロード西に誕生!

*外国システムを採り入れた新形式のビューティ サロン フジはアメリカ、フランス、イタリア、ドイツ各国の名品を揃えて皆さまのおしゃれのお手伝いをいたします。
*殿方の美容術<マニキュア、ペティキュア、美顔術>もいたしております。

Beauty Salon Fuji
美容室 ふじ——藤金やす子

神戸市生田区下山手通3丁目16 同昌ビル2階
トア・ロード神仙閣西100米山側 ☎1536

営業時間★AM 9:00~PM 5:00
電話のご予約制をご利用ください

お中元に 神戸の味



★市内無料配達地方送り承ります

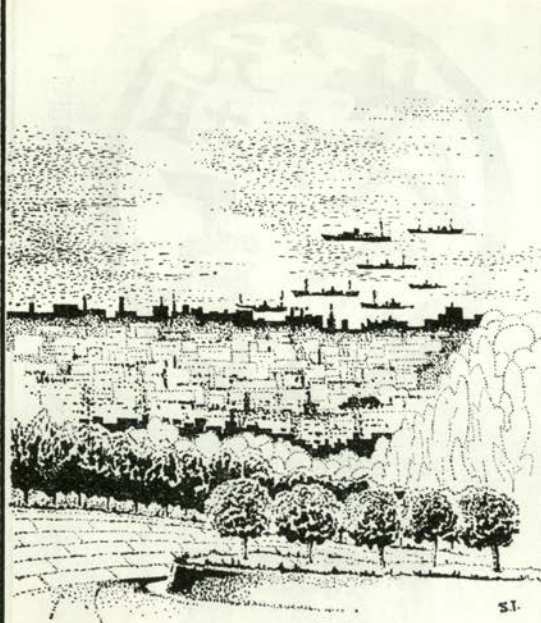
神戸三宮トアロード
本店(33)1番2番3番
南店(33)1616番





港の見える
レストラン

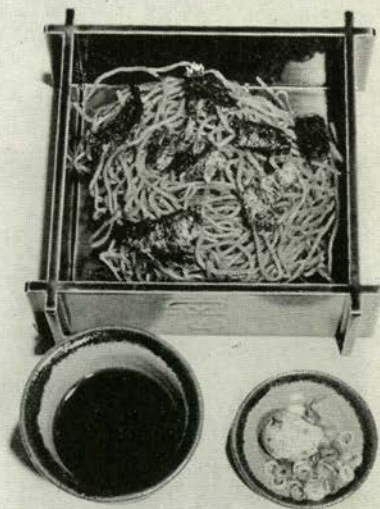
コラル キタノ



神戸 北野クラブ Tel.23,2251~3

夏の味覚

茶そば



グリル喫茶



元町通3丁目本高砂屋2階
TEL 337368



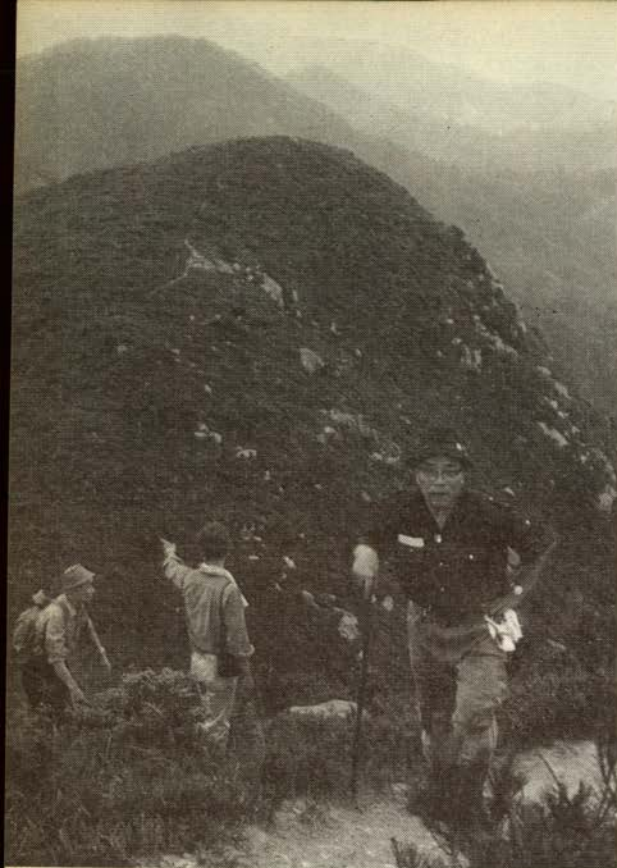
城ヶ越え
岩山頂上

い話であるが、彼は指を折り、木の枝を一本一本手に持って数えながら歩き続け、途中皆になんだかんだいわれながらも、とうとう妙法寺まで数え続けた。

そのなみなみならぬ彼の努力に敬意を表して、その記録を記そう。(奥摩耶ユースホステル―市ヶ原までで五五一三歩)

東六甲で出会ったハイカーは、山の装備をつけ、いかにも山男という感じだが、市ヶ原より西は、日曜日ということもあって、サンダル靴や皮靴をはいて、色とりどりのおしやれをした男女づれが多くにぎやかに登ってゆく。「この頃の若い者はなつとらん」とよくぼやかれるが、この若人たちの健康

・絶景の菊水山頂上。



な姿を大人どもに見せたいもの。

(修法ヶ原で井原君、九四〇〇歩を数える。それにしても井原君意地でも最後まで数えてやると大ハッスル)

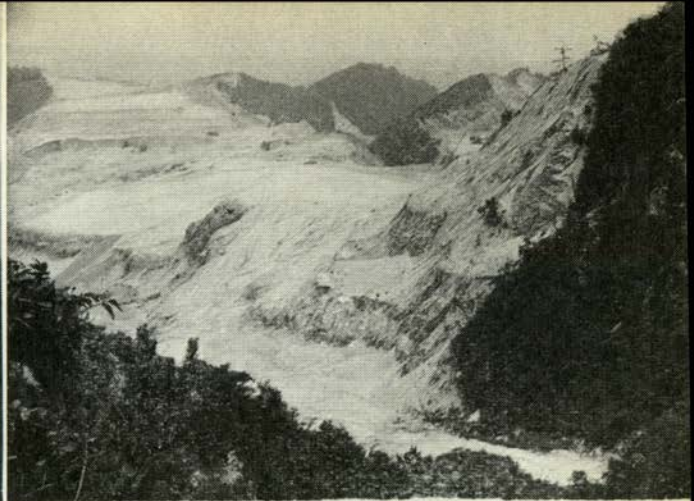
再度山からバノラマ道へ入る所で昼食にしたが、人目をさけたアベックがちらはと目につく。まだまだ修業が足らぬのか、我々若い者には少々目の毒。下から、修法ヶ原での楽しそうなにぎやかな声が聞こえてくる。

そこを出発して鍋蓋山へと向ったが、修法ヶ原から離れるにつれてにぎやかな声とクロスしてウグイスが鳴きはじめ、ティカカズラの花が再び山の奥深く導いてくれた。そして鍋蓋山から、開けゆく鈴蘭台を右手に見ながら有馬街道に出た。(一四六二三歩)

★やせ細る六甲山

△有馬街道―菊水山―高取山―妙法寺―横尾山―高倉山―鉄拐山―鉢伏山・須磨浦公園(十九キロ)▽

ところで、六甲山から流れ落ちる川は△六甲五十一河川▽といわれるほどありその水の美しいことで知られて来たが、山上の開発が進み、ハイカーが増えるにつれてだんだん山の水もきたなくなっている。「水場を知る」ということが「その山を知る」という一つの条件になるが、このよどみゆく水も六甲山を愛する人々にとって悲しむべき現象だ。



・須磨アルプスの表に美しいが裏側は見るとムザン！



高取山から須磨山へ下る

須磨山から高取山へ下る

○○○歩を数える

高取山を裏側から見ても、また驚いてしまった。表から見るとわからないが、裏側は極端な表現をすれば半分ばかりとけずられている。ちょうど、映画のセットのようなもの。この現象は、妙法寺から、いわゆる須磨アルプスといわれている横尾山、梅尾山を経て高倉山まで続いている。はるか瀬戸内海を一望できるところでまたぶつかった。須磨の海岸に長くつき出ている、あのベルトコンベアを使つての土砂採取をしているところだ。浜側から見ると、あの長いコンベアがずっと山の中へすい込まれている感じが、その小高い丘を越えた裏側はボツカリと穴が開き、完全に山がけずり取られていた。そのため、高倉山頂上手前の両側に降りる道はすべて立入禁止になっていた。

頂上から右手に見下ろせる下畑村の水田やため池が、箱庭をながめるようで、海岸側と対照的である。瀬戸内の海では、水中翼船が遠く水しぶきをあげて走って行く。

鉄拐山から旗振山へ向う途中で黄色いチョウチョがヒラヒラと前を飛んで長かった六甲縦走最後のコースへと我々を導いてくれた。

文・川端 耿一

え・松岡 寛一

カメラ・赤松慶三郎

・横尾山からはるか須磨アルプスをのぞむ。手前から、高倉山、鉄拐山、鉢伏山の峰々。山までの間でも、度々縦走路が中断され、あるいは、車が行き交うドライブウェイをそれて山を迂回するというコースがあったが、菊水山を下り、ひよどり越えから高取山に向うため、丸山の町なかを歩かねばならぬのには驚いた。電柱に八甲縦走路の指示標が掛っているにいたっては、少々コッケーでもある。(井原君町中で二〇

菊水山のふもとで、始めて湧き出る清水を見つけ、冷たい水でノドをうるおす。おなかポチャンポチャンするのを心配して後は水トウにつめる。登る途中で木イチゴを見つけ、一粒口に含んだが、まだ少しすっぱい。

笹が生い茂り、所々に大きな岩がゴロゴロしている菊水山頂上。山も眺め美しく、六甲縦走中の思いがけない絶景だと讃辞が集まった。

さて、宝塚を出発してこの菊水山までの間でも、度々縦走路が中断され、あるいは、車が行き交うドライブウェイをそれて山を迂回するというコースがあったが、菊水山を下り、ひよどり越えから高取山に向うため、丸山の町なかを歩かねばならぬのには驚いた。電柱に八甲縦走路の指示標が掛っているにいたっては、少々コッケーでもある。(井原君町中で二〇

縦走余談

松岡寛一

△洋画家△

宝塚から塩尾寺への長い坂を喘いだアブローチでの重苦しさ、岩倉山の三角点をすぎるころからはなくなつて、心も足も軽くなつたのは、出足の緊張感がほぐれたのか、それともようやく気合がはいってきたか、すこぶる快調をおぼえる私は、だからすこしばかり軽口となつて「この花は何ですか？あの木は？」などと、リーダーの山本吉之助先生をわずらわすのだが「それはコアジサイ。あれはヤマボウシ」「——ボウシは帽子のボウシですか？」「そう。だから上から見下ろすときれいです」と、いちいちていねいに教えて下さるものの、そうした私は一步一步を踏みめ味わうような先生の登行リズムを、いささかきみだしがちであつたのではなからうか。『神戸っ子』のA君もB君も、どうやら私の軽口ベースにのつたものか、灌木の茂みからとつぜん「ケキョ、ケキョ」と聞えた小鳥の啼き声を「アレ？ウグイスかな」と小首をかしげるB君に「発声を練習している若いウグイスですよ」と山本先生。「どうりでまだへたくそや」と、B君がいつ

たとたんに「ホーホケキョ」と、それは見事な一声だつた。「アレ、きこえたんかいナ」と思わず四人とも笑ひだした。

棚越えあたりでは『キジうち』と『花つみ』の相違は、要するにそれは姿勢からきたものであろうと真顔で結論を出したり、水無山へかかる炎天下の登りでは、ブッシュの中に捨てられたビール瓶を指さした私は「よくぞここまでかといできたナ」と、さも感にたえない顔つきになつたのはまだよいとして、愚かにも「ああ、ビールがのみたい」それも「ルミのビールが」と嘆声を発した。ルミは私がいやまことに不謹慎なことであつた。縦走コース後半の再度山では、折しも休日とあつてか、草中によりそうアベックに度々なやまされた。菊水山をよじ登つて、城ヶ越えの小休止では「山で出逢つた女性」論となつた。なんとキングンなる山本先生まで「いや、あのオンナノコのはうが——」

などと発言されたのは、よほど私たちからの悪影響であらう。しかし、このあたりにいたると、さすがにビッコをひく人もでてきたのも事実である。そうこうするうちに突如としてA君が、スットンキョウな声をはりあげ「アバアバアバ——」とアバッチインデアンもどき奇声を連発しはじめたのは、まだはるかかなたの高取山や須磨アルプス越えにむ突撃ラッパのつもりであらうか。いや、ひよっとすると案外ヤケクソになつていたのかもしれない。

その高取山では、さしもの長い夏の日もようやく暮れなずみ、小さな雨さえ頻にかかりはじめた。まさに、日暮れんとして道遠しである。山頂から西側瘦尾根を下る私たちの前方には、横尾山や樺尾山など重なりあつた須磨アルプスの連峰が低い雨雲の下にくろくろと連なり、それは「まだまだ歩けるぞ」とりきんでみせる誰かの声もなんとなくむなししく思わせる位、それほど遠く見えたのである。



六甲の醍醐味

山本吉之助

△神戸山岳連盟副会長▽

六甲山縦走は何度やってもいいもの。体をきたえるのに理想的なコースです。私達も天気に恵まれて、快的な縦走ができたのは幸せでした。塩尾寺の昔変らぬ静かで落ち着いた、たなずまいや、棚越付近の「松林」の眺め、水無山からの展望、菊水山からの神戸市内を望む雄大な眺めなどは、何度きてもあきない素晴らしい印象でした。ただ驚いたのは六甲の変わり行く姿でした。宝塚温泉街を抜け、紅葉谷に入ったとたん、昔、松の木や紅葉で包まれていた山道がその面影も消えて突然目の前に開けたのは宅地造成工事でした。ダンブカーが砂けむりをあげて土砂を運び、ブルドーザーの遠吠えであたり一面は、開け行く東六甲そのものの姿でした。その宅地造成工事を手前に見て、武庫川をはさむ宝塚市街地を望んだとき、せめて今残る小道だけは残してもらいたいと願いました。変り行く六甲といえは西六甲にあたる高倉山付近は丸裸にけずりとられ、かろうじて尾根道が残ってはいましたが、この道もいつの日にか……と思うと残念でなりません。

うぐいすやホトトギの美しい唄声を聞きながら歩く尾根道は、咲き乱れるコアジサイやサツキのかわいい姿とともに重い足も思わず軽くなります。

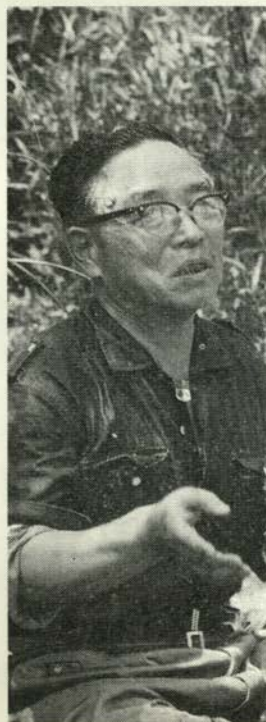
さて六甲縦走は季節的に考えると八月中旬以後から十一月中旬の間が一番望ましいと思います。一日コースは少々無理だと思うのですが、間にキャンプをはさむと楽しい縦走ができるでしょう。東からのコース、西からのコースがありますが、西からの場合は市ヶ原付近で一泊するのがいいでしょうし、東からの場合は摩耶ユースホテルあたりが適当だと思います。テントを持って歩くのはなかなかたいへんだと思いますので、ユースホテルか再度山大竜寺や青年の家などでも宿泊させてくれるので利用すればいいと思います。

全コースを通じていえることは、摩耶山を境に東と西では充分な装備で訓練している山男に多く出会いましたが、西では、特に再度山付近のハイカーの姿が軽装す

ぎて心配しました。これはバスが通っているためですが、ハイヒール、サンダルあり、手さげ袋を持って歩いているのを多くみかけましたが、危険な山登りです、リュックサックを背負って、両手もなるべく開けて慎重に登ってほしいものです。足もとの注意としてキヤラパンシューズは十分ですが、運動靴はさけないものです。下りも多いので疲労が重なるのです。見た目は格好がよいのですが、地下足袋をおすすめしたい。長距離にわたって歩くのには、足によくなじんで理想的なものです。

また忘れてならないのは「水を忘れるな」ということ。地図はもちろんのこと、懐中電灯を各自一個ずつは用意することです。

正しい山のほりとは心から山に「はれる」ことが大切です。恋人に逢いに行くときは、だらしのない格好は決してしないように、山を恋人と思って、恋人に好かれるような準備をすれば間違いはないのです。





アンフォルメ
抽象画と料理の店(完全冷房)



絵の見える玄関
青い畳に涼しいすだれ
打水のお庭に 石仏
そして……………
神戸肉を焼いて
野菜をたつぷり
夏はこれに
限ります
食事付
一、三〇〇円

神戸中山手四 TEL ㉔ 7836・7846

鮫ト栄養ト美容ト健康

皆様バーモンド療法という言葉を御存じですかリンゴ酢と蜂蜜とを毎日常用して居ると美容と健康とによいと云われています。マルカン酢技術陣の総帥理学博士中山様(米国に約一ヶ年半)一家と共に住み毎日酢の研究を続けられた日本で只一人の酢の博士として有名な方の御指導のもとに私又平が鮫メシの合せ酢を古来よりのカラをやぶって蜂蜜とリンゴ酢化学調味料の一番とを使用致しまして初めて調理しました。

当店の重なる商品名

活魚専門にぎり鮫 谷崎先生がお免状と云われた 海軍小巻子鯛と有馬さんしょうを中具にした日持のよい 岩戸鮫 命名親林又一郎先生大好物ヒカリ物(ユワシ・コハダ) 雪花鮫 旅行用養老巻きとも云います 白枝昆布と竜皮昆布とこんび 松前鮫 明石産子鯛 雀鮫 小巻数種 一塩もの 笹巻鮫 明石鯛の握りを蒸し焼きにした名物 茂鮫 変り鮫も多種多様御好みに応じ調理致します。 御土産に最適です。 鮭早馴れ鮫は登録番号を持っています。 商標はやなれすし 五五五七号 実業 早馴れ鮫 六八八五号

又平

電話 三三—〇九三五

レジャーのお伴に
夏の夜に……

ナショナル
パナソニック

お買上げの方に
プロ野球有名選手の
サインボール

進呈

●期間 7月1日～8月20日



6石ポケットブル
R-118

ソフトケース・イヤホン・電池付
現金正価 3,900円



本格派FMポータブル
RF-800D
皮ケース・イヤホン・電池・ACコード付
月賦定価(10回) 12,400円
現金正価 11,800円

あらゆる電化製品の店

元町電機

元町6丁目 (34) 5847・6581



マキシ
美容室
神戸店

初夏から夏にかけて
の美しいヘアー・モード
はゆきとどいたサービス
シックなムードのマキシ
美容室へおこし下さい。

Maxine Beauty Shop

神戸・三宮神社前三上ビル3階 電 33 4917
西寺尾店(文化センター内)・横浜元町店 0312
軽井沢店 2771・博多大丸美容室・香港大丸美容室